

電気



産業労働部 公営企業課
発電管理班 主任 北原 達

経歴 採用7年目

- H30年 産業労働部 公営企業課
発電管理班
- H27年 産業労働部 玉川発電事務所
発電保守班
- H26年 産業労働部
秋田発電・工業用水道事務所
発電保守班
- H24年 入庁
産業労働部
秋田発電・工業用水道事務所
総務・発電運用班

ある日のスケジュール

- 8:15 出勤(徒歩、自転車)
- 8:30 班業務確認、メールチェック
- 9:00 発電事務所の発電所作業停止計画確認、関連資料作成
- 10:00 電力会社へ発電所停止計画
申入れ
- 10:30 発注前工事設計資料作成
(エクセル、CADなど使用)
- 12:00 昼食(配達弁当または周辺の
飲食店)
- 13:00 契約済工事施工状況確認、
受注業者・現場担当者と電話
打合せなど
- 15:00 発電実績資料作成
- 16:30 月間・次年度以降発電所作
業停止計画とりまとめ、集計資
料作成
- 17:15 退庁
- 18:00 夕食、子供と遊ぶ

わたしの職場はこんなところですよ

秋田県では電気事業、工業用水道事業を運営しており、公営企業課はその2事業を主管しています。庶務一般や人事等を行う「企業総務班」、総合企画や議会対応を行う「企画・経営班」、会計経理決算、出納事務等を行う「予算・経理班」、中小水力発電の調査・建設を行う「開発・調査班」、土木施設の維持管理を行う「企業施設班」、工業用水道の管理、給水業務を行う「工業用水道班」、発電所の管理を行う「発電管理班」の7班があり、各班3～7名程度で構成されています。職員の年齢構成は30～60代と比較的高くなっています。

わたしは今、こんな仕事をしています

「発電管理班」に所属し、県内16箇所にある水力発電所の管理を担当しています。発電所からは、産業活動、家庭生活に必要な不可欠である電気を供給していますので、定期的にまたは、トラブル発生時にメンテナンスを行う必要があります。しかし電気は簡単には止められないため、各発電事務所や電力会社と緊密に連絡をとり、調整を図っています。また、各種実績資料作成、発電事務所側で対応が難しい大規模あるいは広範囲の工事・委託業務も担当しています。

秋田県のここが好き！

豊かな自然に囲まれ、山歩き、ダイビング、釣り、スキー等年間通じて自然に親しむことができ、米、肉、酒等特産品も様々あります。インフラ面では大都市圏に劣り、冬には雪かきの必要があるなど苦勞する面もありますが、どことなくゆったりとした「田舎」を感じながら生活できます。

電気職のやりがいはここ！

電気専門知識・技術が必要な上、扱うのが「水力」発電所であるため、広範囲の対応力が求められます。自分ひとりでは対応が困難なことも少なくありませんが、様々な経験を持つ技術者が集まり、一緒に仕事をしますので、周りから知識を吸収し、成長できます。また、電気や水を販売し収入を得ているので、一般的な公務員と違い「自分でお金を稼いでいる」、自分達が発電した電気をリアルタイムで送電している状況を見て、「県民・地域・産業へ貢献している」という実感も得られます。

入庁してから何か大変だったことはありますか？

転職だったこともあり、受験可能な年齢上限ぎりぎり受験しました。入庁直後は仕事を早く覚えなければと焦り、気持ちだけが空回りする日々でした。ある日先輩職員から、「電気職は10年で1人前だから焦ることはない」と言われ、気持ちが軽くなった覚えがあります。ただ、公務員は民間と比べ仕事を進める際の手続きが多く、それは未だに慣れないままです。

秋田県職員として働く魅力を教えてください

福利厚生制度が充実しており、医療関係補助や各種手当等を受けることができます。また、近年は職場の業務効率化を進め、年次休暇や夏期休暇の連続取得を奨励しているので、プライベートも充実させることができます。

採用試験の準備はどのようにしましたか？

第3種電気主任技術者、エネルギー管理士、技術士一次試験などの資格試験を受験したほか、公務員電気職用の参考書を使い、当時の仕事時間の合間に勉強しました。公務員電気職の参考書はあまり種類がありませんでしたので、参考書選びで迷うことがありませんでした。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

大自然に囲まれた当県電気職の仕事に就くと、これまで以上に自然環境の奥深さ、豊かさ、たまに厳しさを感じられると思います。もともと秋田が好きの方はもちろん、都会に疲れた方も温かく迎えてくれる環境があり、職員が待っていますので、ぜひ入庁を検討してみてください。

電気



産業労働部 玉川発電事務所
発電保守班 技師 鎌田 昇平

経歴 採用7年目

- H28年 産業労働部 玉川発電事務所
発電保守班
- H24年 入庁
産業労働部 大館発電事務所
発電第二班

ある日のスケジュール

- 8:10 出勤(徒歩)
- 8:20 メール・スケジュールの確認
- 8:30 当直職員から発電所運転状況の報告、業務引継
- 9:00 巡視・調査のため発電所へ
- 9:30 発電所到着
- 9:30~14:00
巡視・調査
- 12:00 昼食
- 14:00 巡視・調査終了
- 14:30 帰所
- 14:30 巡視・調査データ整理
- 15:30 工事・委託設計書作成
- 16:30 担当工事・委託の進捗状況確認、受注者と打合せ
- 17:00 メールチェック、翌日業務の確認
- 17:30 退庁
- 18:00 同僚と近くの体育館でフットサル、バスケをして汗を流す
- 21:00 買い物

わたしの職場はこんなところですよ

玉川発電事務所は、“たつこ像”で有名な田沢湖の近くにあり、県営の水力発電所全16カ所のうち4カ所(小和瀬、玉川、鎧畑、田沢湖)の運転・保守管理を行っています。

庶務一般や発電運用計画の策定、監視装置等の維持管理を行う「総務・発電運用班」と、水車発電機等の維持管理・改良を行う「発電保守班」の2班体制で、総勢23名の職員が勤務しています。若手職員も多く、活気ある職場です。

わたしは今、こんな仕事をしています

「発電保守班」に所属し、発電所の巡視や調査、機器の点検・補修、工事設計・監督業務等を行っています。巡視等で不具合箇所を早期発見し、職員や工事により補修・改良を行い、事故を未然に防止し安定した発電ができるよう努めています。また、遠方監視制御により各発電所の運転状況を24時間体制で職員が監視しています。そのため、通常勤務のほか、週1回程度の宿直業務もあります。

秋田県のここが好き！

いちばんは食べ物ですね！社会人になり色々な集まりに参加する機会がありますが、地元で作られた農産物や山の幸、海の幸を堪能し、県内各地のおいしい地酒を飲んでいると、秋田にいて良かったと思います。

電気職のやりがいはここ！

机上業務も行いますが、発電所などで作業することも多くあります。職員自ら、機械を点検・補修する場合もありますし、自然豊かな山中にある設備まで徒歩で向かい点検することもあります。体を動かしながら、電気に限らず機械や土木についての知識も吸収できるので、とてもやりがいを感じます。

秋田県庁を就職先に選んだ決め手は？

高校時代に「進学」か「就職」で悩んでいた頃、先生から秋田県庁を勧められたことや同じ高校から秋田県職員になった先輩と話す機会があり、就職するなら生まれ育った秋田県に貢献したいと思い、秋田県庁を選びました。

オフは何をしていますか？

県職員で構成している野球チームで体を動かしたり、同僚と飲みに行ったりしています。同じ県職員ですと休暇も合わせやすいので、お酒を飲みながら旅行を計画したりしています。

どんな人と一緒に働きたいですか？

協調性があり自分の意見を言える方！
どんな仕事も1人で抱えず、上司・同僚と積極的に意見交換しチームで業務を遂行できる方と仕事がしたいです。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

秋田県は再生可能エネルギーの1つである水力発電事業に積極的に取り組んでいます。私たちと共に、エコでクリーンな電気を作り、自然豊かなこの環境を守りながら、秋田県の未来を明るく照らしていきましょう！